



町民のひろば

耳よりな情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。
いらっしやい葛巻推進課 広聴広報係 ☎66-2111 内線 235

さわちゃん劇場

(澤口浩 作画) 208

年と共に涙腺が...の巻



(実話)



はなめ 遠藤 華芽ちゃん

(2歳10カ月・星野) 勝成さん・真由美さん 長女

家の中でずっと走り回るなど、元気いっぱいのはなちゃん。変顔をよくするお茶目な性格で、家族を笑顔にさせてくれます。お兄ちゃんのみねをして、野菜をちぎったり、おもちゃの包丁で切ったりと、自分から料理の手伝いをしてくれるようになりました。周りを見て行動できる優しい子に育ってね。 真由美



たいら 村上 大煌くん

(3歳2カ月・大沢) 康孝さん・敦美さん 長男

人見知りをせず、人と話すことが好きで誰とでもすぐに打ち解ける「たいら」。最近、家でドラマ「MIU404」ごっこをして遊ぶことが大好き。お姉ちゃんたちにお箸の使い方を教えてもらって、今では大好きな白ご飯も上手に食べられるようになりました。家族を守る強い男の子に育ってほしいです。 敦美



ハイ、元気です

317



(85歳・茶屋場)

六辺 マツさん

「若いときからずっと畑仕事をしています」と話すマツさん。現在も家の畑仕事に精を出し、トマトやかぼちゃなど数種類の野菜をほぼ一人で育てているそうです。「今年はスイカを収穫しようと思ったらカラスに食べられてしまいました」と少し残念そうな様子も。健康の秘訣は、体を動かすこと。夕方には家の周りを散歩し、近所の皆さんと立ち話をしているそうです。毎日の日課は、読書と日記を書くこと。「広報誌を読むのが好きなんです」と笑顔で語るマツさんでした。

「わたしの主張」北岩手地区大会 小屋瀬中の江田理葉さんが優秀賞

令和2年度「わたしの主張」北岩手地区大会(同実行委員会主催)は9月3日、安代中学校で開催され、八幡平市、岩手町、葛巻町の10中学校から各校を代表する10人の中学生が出場しました。

生徒らは、未来に向けての夢や社会に対する意見や希望、日常生活の中で感じたことなどを発表しました。

本町からは、次の3名が各校を代表して出場し、小屋瀬中学校3年の江田理葉さんが同校では3年連続となる「優秀賞」に入賞しました。

演題「人を隔てるもの」 優秀賞

人種差別の問題を契機に自分も知らず知らずのうちに差別に近い行動をとってしまったのではないかと気が付きました。「人を隔てるもの」は何なのか?それは、人や未来を信じる勇気のなさだと思います。その心の弱さと一緒に闘っていこうという気持ちを込めて発表しました。



江田 理葉さん (小屋瀬中3年)

仕事を頑張りたいです

◆勤め先は?

家業の上野牧場で働いています。主に子牛の世話をしており、牛舎の掃除や餌やりをしています。牛の体調の変化には特に気を付けて、毎日様子を観察するように心掛けています。

◆自分の性格は?

人見知りな性格です。

◆趣味・特技は?

お菓子を作ることです。最近作ったのは「いちごのタルト」。生地から自分で作りました。

◆今、一番したいことは?

旅行をしたいです。スキーやスノーボードなどのウィンタースポーツが好きなので、北海道の大きなスキー場に行ってみたいですね。

◆理想の女性像は?

一緒にいて楽しい人です。

◆将来の夢は?

家業を継いで、従業員を雇うなどして、ゆとりのある牧場経営をしたいです。

◆最後にひと言

酪農についてまだまだ知識が浅いので、他の酪農家の皆さんと情報交換をして、より知識を深めていきたいです。

演題「僕の夢」

僕の夢は甲子園に出場することです。幼い頃、病気で運動ができなかったけれど、中学では野球の地区選抜に選ばれました。経験談を伝えることで、夢を諦めずに一緒に頑張ろうという気持ちを込めて発表しました。



惠津森 大貴さん (江刈中3年)

演題「夢のきっかけをくれた牛」

将来は、葛巻町で「山地酪農」を経営することが夢です。搾乳のとき以外は牛を山に放牧する山地酪農は全国でも数少ないため、知ってほしいという気持ちを込めて発表しました。



向川原 大和さん (葛巻中3年)

今日のショット



くすまき型DMOの若者・高校生検討部会は9月13日、葛巻高校16人を含む24人がまちなかを探検し、「宝探し」を行いました。【関連記事9ページ】



ヤング 462